



令和元年 6月10日  
富岡保育園  
年長 No.4



土曜日の福祉スポーツ大会には、お忙しい中、応援に来て下さりましてありがとうございました。お家の方の応援が、子どもたちの頑張りにもつながったようです。

この大会は、今年で 41 回目となるそうで、「苓北町内に居住されている老人、児童、障害者及びこれらの関係者が一堂に集い、それぞれの体力に応じたスポーツレクレーションを楽しみながら、コミュニケーションの輪を広げ、健康を高め、豊かで生きがいのある福祉社会の増進を図ることが目的」で開催されているものです。年長さんは毎年福祉スポーツ大会を楽しみに保育園でも玉入れ、大玉転がし、トンネル競争等々みんなで遊んできました。

プログラムの中には、車椅子リレーなど障害者の方の種目もあり、間近で車椅子や電動車椅子、体の不自由な人たちを見て「先生、こんにやく先生みたいな人がいるよ！」「手、痛そうだね」「どうして動かないのかな？」という声も聞かれ、子どもたちなりに何かを感じていたようでした。前日、赤尾先生が「こんにやく先生」の絵本を読んで下さったことは、子どもたちの心にしっかりと届いていたのだと思いました。

又、老人会の方の中には、ふれあい交流会に来て下さったおじいちゃん、おばあちゃんもいらっしゃって子どもたちも親しみをもって「がんばれ！！」と一生懸命声援を送っていました。子どもたちにとっても貴重な体験になったことと思います。



去る、6月7日（金）は、子どもたちが楽しみにしていたカレーパーティーでした。子どもたちにとっては、久しぶりのクッキングでもあり、今回は、「身近な食材を使って、調理を楽しむ」「自分たちで作ったものを、喜んで味わう」というねらいで挑戦してみました。

園で採れたたまねぎを使い、野菜の皮むきも切り込みも子どもたちは真剣で、やる気満々、自分で切るたびに「先生！できたよ！！」と子どもたちの「できた！」の声が次々に聞こえてきました。中には、たまねぎで涙する子もいて、Yくんは、玉ねぎを切った手で顔を撫でてしまったので大変なことになり、慌てて顔を洗いに行きました。玉ねぎは、目に染みるという実体験ができました。（笑）

切り込み終了、「鍋に油を引いて豚肉を入れます」と漣先生が言われると、子どもたちの眼は一斉に鍋に集中し「ん？なんか匂いがしてきた」臭覚もフルに使っているようでした。野菜が煮え最後に子どもたちにルーを1個ずつ投入してもらいカレーの出来上がり。

「いただきます」をしたかと思ったら、みんな黙々と食べ出し、一口食べたYくんが「こんなおいしいカレー食べたことない！！」というのを聞いていたSくんも「おれも！」と同感し、みんなで大笑い。なんともうれしい会話でした。

皆、息をつく暇もないくらいに一気に食べ、皆おかわりをし、おなかいっぱいになりました。みんなで作ったカレーをみんなで食べるから、また、おいしさ倍増なのだと思います。お家の方にも子どもたちの食べっぷりを見せたかったです。

